

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立加茂小学校(兵庫県)【指定校】

【取組内容】 スプレッドシートとチャットを活用した「自己調整学習」と「協働的な学び」

【事前準備】

- ・学習の手引きを作成する。ここには学習の進め方や情報収集、ルーブリック評価などを載せておく。
- ・事前にチャットのスレッドを作っておく(EX.12/10 かけ算④)
- ・チャットの返信機能を活用する。学習の手引きや関係するNHKforSchoolのURL等を返信として載せておく。
- ・宿題で児童に〈予習〉をさせる。内容は次回の授業の教科書を読むのみ。(余裕がある児童はAI問題作成アプリの問題を提出させる→専用のformを作成し二次元コードにし、スプレッドシートで回収。AI問題作成アプリのExcelにデータを貼り、インポートすることで児童が作成した問題になる)

【授業】

- ・授業用のスプレッドシートで課題を確認し、[めあて][マイゴール]をプルダウンから選択する。
- ※めあて=学習の目標、マイゴール=学習方法の目標(1人で・友だちと・先生と、まともはノートに・動画にするか選択)
- ・自己調整学習の開始。

- ・まともができた児童は自身のノートの写真を撮り、チャットに投稿。説明動画もチャットに投稿。

※説明動画はノートの写真をkeynoteに貼り、ライブカメラ説明しているところを画面収録する。

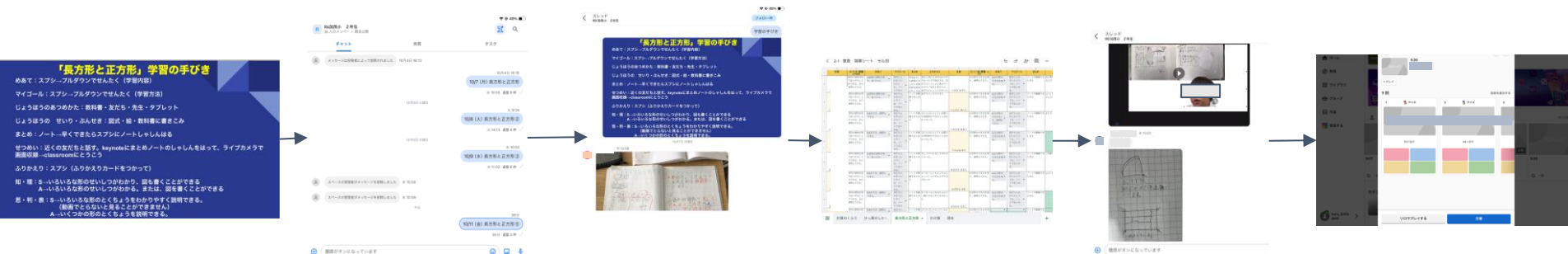
- ・チャットに投稿されたものやスプレッドシートに入力されたものは他者参照に活用。
- ・振り返りまで終わった児童は、適応問題やデジタルドリルで学習しておく。
- ・まともができてきたら一斉学習の形態にし、本時の授業の内容を教師主導で振り返る。
- ・適応問題を確認する。
- ・振り返りができた児童はAI問題作成アプリで作成した問題をみんなで解き、授業終了。

【児童】

・授業内容が理解できている児童は次の単元の見たり、デジタルドリルに取り組むなど、暇を持て余すことなく学習できる。また、自分が作成した学習動画を共有し友だちが参照することで「わかりやすい」などの感想があることで学習意欲向上と自己有用感を獲得することができる。

・友だちと取り組む児童は対話する中で問題解決しようとする。分からないことがあればチャットを活用し、他者参照することで、問題解決の足掛かりになる。

- ・先生と学習している児童は、一斉授業の形で学習する。まともに必要な時間などは児童が決め、自己決定させながら授業に取り組む。



[illegible]

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立加茂小学校(兵庫県)【指定校】

【取組内容】 Googleアプリを使った校務のDX化について

Googleフォームを使った安全点検

R6安全点検

点検のポイント

- ・危険物・危険な場所はないか
- ・机やすい、床板等に破損はないか
- ・窓や戸が外れやすくなっていないか
- ・固定や落下防止は適切か
- ・通行の妨げになるものが放置されていないか

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

* 必須の質問です

安全点検の担当場所はどこですか。*

回答を入力

あなたの名前を教えてください。*

回答を入力

点検場所は安全でしたか。(△や×の場合は次の質問に記述してください。)*

- ☐ ○
- ☐ △
- ☐ ×

△か×の場合、内容を教えてください。

Googleスプレッドシートを使った安全点検

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	出欠確認							
2	日付	学年	組	氏名	欠席理由	遅刻理由	早退理由	備考・遅刻の場合いつ登校したか
3	12/2	1	1		体調不良			
4	12/3	1	1		発熱			
5		1	1			?		
6		2	1		風邪症状			
7		2	1		腹痛			
8		2	1		発熱			
9		3	1		体調不良			
10		4	2		体調不良			
11		4	2			?		
12	12/4	2	1		発熱			
13		2	1		発熱			
14		3	1		発熱			
15		4	あ		風邪症状			
16	12/5	1	2		念のため			
17		2	1		発熱			
18		3	1		念のため			
19		3	2		体調不良			
20		4	あ		風邪症状			
21						？→来た		
22	12/6	2	1					
23		4	2		発熱			



フォームの回答

出欠

12月

11月出欠

10月出欠

9月出欠

7月出欠

6月出欠

5月出欠

4月出欠

出:

+

Googleフォームやスプレッドシートを活用することでアンケートなどの集約が容易になり、業務改善をすることができた。欠席連絡は、保護者がフォームでも行えるようにしており、電話対応も減ることで時間の余裕も生まれた。また、ネット環境があればどこでも結果を確認することができるので、場所も限られなくなったことも利点である。QRコード化することで配布もすぐにできるので便利である。